

# 鉄道ピクトリアル

2013年1月号 Vol.63 No.1 通巻No.871

<特集> ブルートレイン

■表紙 整備を終え出発を待つ「北斗星」「あけぼの」編成……編集部  
尾久車両センター 2012-10-31  
キヤノンEOS 7D EF28-80mm F2.8-4L 絞り f7.1 タイム1/80 ISO200

## ■グラフ

### Blue Train Fantasy (1~8ページ)

河原慶明・藪下茂樹・加藤和毅・井上英樹・神田竜司  
……砂田貴彦・桑村和宏・岡本文彦・今泉博之・尾崎 涉  
渡邊裕太郎・金子 聡・館 利彦

### ブルートレインの時代 (113~117ページ)

森田 宏・小林 武・太田正行・浜村正弘・楳田俊幸  
藤木正成・与野正樹・今井健児・立川哲也・関根敏男

\*

### JR東日本 尾久車両センターに寝台列車の整備作業を見る

……………構成：編集部… 41  
「北斗星」客車コレクション ……写真：佐藤利生・関川恒司ほか… 46  
異色の20系電源車—カニ22とマヤ20— ……資料提供：岡田誠一… 50  
山陽5000系、5030系の形態観察 ……沼尾 吉晃… 54

\*

東武鉄道634形／富士急行1000系に京王5000系カラー登場／JR貨物31フィートコンテナを製作／近畿車輛が自己充電型バッテリー車両Smart BESTを試作／JR北海道10月27日ダイヤ改正ほか 118~121

トピック・フォト (各地・関東・中部・関西)……………122  
京急蒲田駅付近全線高架化・ダイヤ改正……………京急同趣会…130  
阪急電鉄7000系 近年の活躍から……………構成：杉山直哉…134  
ベルリン中央駅に通じる新たなレール……………堀切 邦生…136

## ■本文

今月の話題：ブルートレイン……………編集部… 9  
国鉄～JR 運輸・営業とブルートレイン……………山田 亮… 10  
「足を伸ばして寝る車両」研究抄—国鉄寝台車の設備を探る—  
……………岩成 政和… 20  
牽引機から見たブルートレイン……………柴田 東吾… 32  
ブルートレイン電源車の系譜—マニ20形からカヤ27形まで—  
……………岡田 誠一… 57  
JR東日本上野発ブルートレイン 保守の最前線を見る  
……………服部 朗宏… 72  
JR発足以降における特急形寝台客車の運転……………寺本 光照… 85  
ドイツ寝台列車の旅……………和田山 龍…100

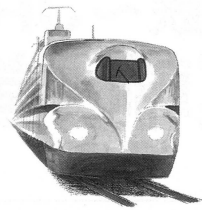
\*

鉄道の話題……………編集部… 40  
合図灯の系譜を探る①……………初澤 毅…102  
JR東海N700A (N700系1000番代)……………坂上 啓…110

新年号Special  
鉄道の正体—まずは正しい事実認識を— ……構成：宇都宮浄人…137  
書評(586)『鉄道技術140年のあゆみ』……………曾根 悟…145  
京急蒲田駅付近全線高架化に伴う2012年10月21日京急線ダイヤ改正  
……………京急同趣会…146  
ベルリン中央駅に通じる新たなレール……………堀切 邦生…150  
阪急電鉄7000系の30年③……………杉山 直哉…156  
絵葉書にみる在りし日の軽便鉄道(1) 耶麻軌道……………白土 貞夫…162  
鉄道ピクトリアル2012年主要総目次……………164  
10月のメモ帳……………166  
読者短信・情報ファイル……………167  
後部車から……………171

ISSN0040-4047  
Tetsudō pikutoriaru

## 今月の話題



カット：山本茂樹

## ブルートレイン

長い歴史を有する夜行列車、寝台列車の中で、1958(昭和33)年に登場した20系固定編成列車の登場は、長距離幹線における輸送サービス発展の象徴として日本の鉄道史に残る出来事であった。ブルーに彩られた特急用デラックス編成の列車は、「動くホテル」と賞賛され、寝台車主体による夜行列車のイメージは大きく向上し、日本の代表的列車として話題を集めていった。20系客車はその後、14系や24系に発展し、その過程で「ブルートレイン」の愛称が付けられるようになり、「ブルートレイン」は快適な夜行寝台特急の代名詞となっていった。

その「ブルートレイン」、語句の起源は1920年代、「Train Bleu」と称され、ワゴンリー社による寝台車編成で運行した地中海急行(カレール、パリ～コート・ダジュールを結んだ)、あるいは南アフリカの「ブルートレイン」、プレートリア～ケープタウン間を運行する豪華寝台列車に由来すると言われている。いずれにしても快適な寝台列車を表す愛称として、日本に息づき親しまれるようになったようだ。

蒸気機関車終焉期の「SLブーム」を引き継いで、一時は「ブルートレインブーム」の様相も呈し、鉄道趣味はもとより広く一般から鉄道への憧れを集めた「ブルートレイン」、夜行寝台列車であるが、その後新幹線網の整備や社会の状況変化に伴う需要減少で、近年はその列車数を大きく減らしている。夜行列車の多くは繁忙期には需要が高いようだが、閑散期には厳しく、経費のかかる列車の維持は鉄道会社もその展開に難しい選択を迫られるようだ。一方、クルーズ列車「なつ星 in 九州」の運行がJR九州から発表され、今後はかたちを変えて新たな方向性で甦っていくのかも知れないという期待も高い。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI  
Mehrlight Ochanomizu Bldg., Kanda  
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan